

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成28年度)

施設名	加古川市営駐車場
指定管理者	テルウェル西日本株式会社
指定期間	平成27年4月1日から平成32年3月31日まで
施設所管課	総務部管財契約課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（台）	310,073	291,678	平成27年度の利用料金の改定や無料Wi-Fi設備の導入などが、利用台数が増加傾向にある要因の1つと思われる。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	30,074,224	29,139,045	
（うち指定管理料）	30,074,224	29,139,045	指定管理者の提案による
（うち利用料金）	0	0	
支出金額（円）	27,101,110	27,055,832	

3 自己評価

自己評価コメント	施設の延命、利用者目線での運営の視点で、各種施策を講じることができた。中でも、特定建築物に準拠した法定点検の実施により、施設の要修繕箇所を明確にし、機能維持・延命、利用者の安全に資する取り組みの足掛かりを築くことができたことは平成28年度の管理のポイントであると考え。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	施設の運営については、概ね事業計画書どおりに実行できたため、良好といえる。現場スタッフの配置も、近隣施設のイベント情報などを事前に収集することで、突発的な混雑・混乱が生じないよう工夫がなされている。また、無料Wi-Fi設備の利用者が徐々に増えてきており、サービスの充実にも努めることができている。
利用状況に対する評価	場内案内の強化など、混雑時等における利用者の安全確保に努めることができている。また、ゆずりあい駐車場の路面表示サインを利用者が視覚的に分かりやすいように変更し、ゆずりあい駐車場スペースの周知につながっている。

自主（指定）事業 に対する評価	実施する事業なし。
施設維持に対する 評価	清掃、剪定、修繕など適正に実施し、良好な維持管理ができています。
収支状況に対する 評価	指定管理料の範囲内で支出がまかなえており、問題はない。
総合評価	平成28年7月に現場スタッフの人的ミスにより、利用料金の過徴収事案が発生したが、マニュアルの再確認や社内研修の実施など再発防止に努め、年間を通した管理運営においては概ね良好といえる。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成28年度)

施設名	加古川市斎場
指定管理者	株式会社五輪
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	市民部市民課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
人体受付件数（件）	2,411	2,369	高齢化社会の為、増加したと思われます。
小動物受付件数（件）	1,987	1,952	愛犬家が多く、市民の皆様に周知され増加したと思われます。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	79,539,263	81,214,079	
（うち指定管理料）	79,539,144	81,212,189	指定管理料減額（預金利息含む）
（うち利用料金）	0	0	
支出金額（円）	78,676,990	79,892,742	燃料使用量の節減、及び新電力会社との契約により、電気代の単価が下がったため

3 自己評価

自己評価コメント	ご親族様が、斎場でお待ちになられる間に快適にお過ごし頂けるにはどうすればよいか、職員が一丸となり考え、対処し、利用者様の立場にたった改善が行えました。今後も継続していき、市民の皆様が利用しやすい施設運営を行っていきます。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	平成28年6月末で本市の霊柩車運行業務助成事業が終了したが、葬祭業者及び霊柩車の運行事業者と連絡調整を行うことで、配車漏れを防止し、安定した火葬業務が実施できている。 利用者アンケートについて、一部報告洩れがあった。どのようなものであっても報告を徹底するように指導した。
----------------	---

利用状況に対する評価	火葬件数は、昨年と比較して人体は 42 件、小動物は 35 件増加しており、今後も超高齢社会の影響などにより、増加していくと想定している。老朽化している中で、安定的な火葬が提供できるように、火葬炉の保守点検や火葬の運営体制が効率的に実施できている。
自主（指定）事業に対する評価	実施する事業なし
施設維持に対する評価	修繕は優先順位をつけて、計画通り実施されている。 高齢者や体調が思わしくない参列者への配慮を考え、事故防止や安全確保のため、車椅子の追加や、和室に手すりや踏み台、トイレに段差解消のためのスロープを設置するなど、できることから環境の整備を実施している。
収支状況に対する評価	指定管理者からの提案により、平成 28 年度から新電力会社との契約に切り替えた効果が表れ、電気代の大幅な経費削減に繋がったため、指定管理料の精算による市への返還額が多かった。
総合評価	施設の老朽化が進んでいる中で、施設の管理、設備のメンテナンス等十分実施されており、利用者に寄り添った、きめ細やかな対応等も評価している。 利用者アンケートについて、月に 1 回の報告でよいものと随時報告が必要なものがあるので、洩れなく、慎重な対応をお願いしたい。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成28年度)

施 設 名	加古川市民会館
指定管理者	株式会社ケイミックスパブリックビジネス
指 定期 間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	協働推進部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	226,473	191,412	7月に5年ぶりの中高東播吹奏楽大会が開催された。11月には広場イベントが雨天のため室内で開催され、また、大入りの自主事業が増えたため前年度比増となった。
施設稼働率（％）	46	42	ほぼ全ての部屋で稼働率が改善された。特に、第3会議室では定期的な利用団体、多目的室では室内設備備品を使った利用が増え稼働率が向上した。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	148,568,695	146,354,760	
（うち指定管理料）	100,153,000	103,382,000	協議による指定管理料の見直しのため
（うち利用料金）	37,768,352	30,215,332	ホール利用率の上昇
支出金額（円）	139,693,212	142,448,566	協議による指定管理料の見直しのため

3 自己評価

自己評価コメント	(会館施設利用) 会館施設利用の稼働率、利用料金ともに昨年度および目標値を上回った。定期的に利用いただく利用者が増えたことおよび周年記念イベントが耐震工事休館期間後に集中した。毎朝の会議で日常事項の報告を行い予定を確認し全職員が利用者へのサービス向上に取り組むことが定期利用者増加につながった。多目的室では設備を充実したことで利用率、稼働率が増加した。 (会館実施事業) 人気公演の実施により、友の会会員数ならびに自主事業の入場者数が増加し、会館の認知度を高めることができた。また、講座やワークショップでは、他施設との差別化を図った工夫を凝らした企画でリピーターを増やすことができた。 (経費削減) 今年度も経費削減、特に光熱水費削減に取り組み、予算に対して13%削減分を加古川市に返還できた。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	施設の運営や維持管理については、提案書、仕様書、事業計画書に基づき実施された。アンケートや提案箱の設置等により、利用者のニーズを受け業務改善、サービスの向上に努めている。
利用状況に対する評価	新たな事業、サービスの向上、PRの工夫等により施設利用者数、利用料金、稼働率について前年度実績、目標値共に上回っている。
自主（指定）事業に対する評価	指定事業、自主事業とも計画通り全ての事業を実施した。事業参加者数については、指定事業は目標値を達成できなかったが、自主事業は目標値を上回っている。今後も市民参加事業やアウトリーチの他、新規事業も計画しており、その取り組みにも期待したい。
施設維持に対する評価	定期的な点検や清掃、植栽管理、警備などが適切になされている。また、修繕費、備品購入費共に当初予算を若干超過したが、指定管理業務の収支の範囲内で必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	指定事業は支出超過、自主事業は収入超過、収支全体としては収入超過という結果となり、ほぼ計画通りに予算を執行している。また、空調運転の効率化により、光熱水費の削減に努めた。
総合評価	地元出身の歌手「菅原洋一」の公演を行い、市民会館を身近に感じる事業を行った。また、前年度に引き続き「加古川カルチャークラブ」、「大ホールひとりじめ～スタインウェイピアノを弾こう～」等の市民参加事業により市民会館の新たな利用者を増やす努力を行っている。有名アーティストを起用した公演も行い、友の会会員数、自主事業の入場者数が増加し、会館の認知度を高めることができた。次年度からもさらなる事業展開に期待したい。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成28年度)

施設名	加古川総合文化センター
指定管理者	小学館集英社プロダクション共同体
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	協働推進部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
コミュニティ施設 利用者数（人）	94,456	90,361	創作室の低迷やサークル室の夜間区分の利用が極端に少なく、伸び悩みの状況である。文化センターだより増刊号や神姫バス内広告、HPと工夫はするも、わずかな伸びにとどまっている。
コミュニティ施設 稼働率（%）	36.6	36.3	
美術ギャラリー 利用者数（人）	40,502	43,063	隔年実施の鉛筆画展示会の開催年ではなかったため減少したが、夏季美術展や加古川市小中学校理科作品・書写・美術展と多くの入場者があった。
美術ギャラリー 稼働率（%）	64.5	64.0	
博物館 利用者数（人）	4,787	4,397	市内の小学校に向けて見学案内を早めに送り、16校の団体見学があった。博物館企画展「初公開の土器～溝之口遺跡と美乃利遺跡」や、小学3年生対象の「昔の道具探検隊」と多くの入場者につながった。
宇宙科学館 利用者数（人）	4,156	4,072	加古川東高校科学系クラブによる夏休みサイエンスショーや、サイエンスひろば「宇宙はどんなところ？」で工夫をこらすが、展示内容が固定しており、指標には達していない。
プラネタリウム館 利用者数（人）	15,431	14,132	七夕番組への幼稚園、保育園の団体見学希望が年々多くなっている。こども対象番組「妖怪ウォッチ」は好調であったが、大人を対象とした番組「かぐやと KAGUYA」は人気が出なかった。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	136,112,979	136,503,469	
（うち指定管理料）	98,506,000	98,490,000	指定管理者の提案による
（うち利用料金）	29,023,708	28,964,878	駐車場料金が前年を少し上回る
支出金額（円）	140,151,813	137,921,165	

3 自己評価

自己評価コメント	アンケート結果などから、大半の方が利用に満足をいただいている。建物設備は築 30 年以上経過し、老朽化が目立つ箇所もあるため、優先順位を設け、順次改修を行う。 来館者は、こどもや高齢者のみなさまが多いこともあり、職員それぞれが各自の役割に加え、安全対策に目を配っている。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	事業実施計画に基づき特色ある事業を行っている。今後はこれまでに以上に利用者の意見・要望を把握し、加古川の文化施設ならではの事業展開を行っていくことを期待する。
利用状況に対する評価	利用者数、稼働率共に目標値を下回っているが、前年度実績は上回っている。貸館や常設展における利用者ニーズを的確につかむとともに、施設の P R 等も積極的に行っていただきたい。
自主（指定）事業に対する評価	指定事業、自主事業共に当初計画されていたすべての事業を実施することができ、参加者数も目標値を上回っている。指定管理者の強みを生かした事業を今後も行っていくとともに、事業の見直しや新規事業により利用者ニーズに合った事業展開を期待したい。
施設維持に対する評価	定期的な点検や清掃、植栽管理、警備などが適切になされている。また、指定管理業務の収支の範囲内で必要分を予算執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入については、貸館利用が前年度から横ばいであり、指定事業の夏季美術展の物販売上も期待どおりにならなかったため、支出超過となった。
総合評価	施設の管理運営や施設維持管理については、提案書、仕様書、事業計画書に基づき適正に遂行している。事業については、毎年、事業の再検討を行い、アドバイザーボードの意見も取り入れることにより、一層施設が活性化するよう期待したい。また、利用者の増加を図るため、施設の積極的な P R も併せて期待したい。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成28年度)

施設名	加古川市立松風ギャラリー
指定管理者	加古川市美術協会
指定期間	平成26年4月1日から平成29年3月31日まで
施設所管課	協働推進部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	24,848	20,538	前年度は空調機器更新工事のため43日間の休館があった。
稼働率（％）	50	47	展示室Ⅰを主催事業で活用した。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	19,148,803	18,800,583	
（うち指定管理料）	16,413,000	16,413,000	
（うち利用料金）	2,150,335	2,028,838	
支出金額（円）	17,990,982	17,292,674	

3 自己評価

自己評価コメント	2年間の指定管理を経て着実に施設の稼働率を引き上げてきた。指定事業についても、集客力のある事業を実施することができたので総体としては市に提案した事業計画は達成することができた。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	指定管理者が持つ地域の文化団体とのネットワークを活かした地域に密着したサービスを提供できている。特に市内で活躍する作家や音楽団体の美術展やコンサートを行うことにより、地元加古川の芸術文化の振興に寄与している。
利用状況に対する評価	利用者数、稼働率共に前年度を上回り、目標値も達成した。前年度から引き続き1階の展示室に可能な限り事業を組み入れ、また、2階ホールの利用を促進したことは評価できる。

自主（指定）事業 に対する評価	自主事業として、指定管理者主催事業である美術協会部門別会員展（日本画、彫塑・工芸、写真、書道、洋画）を開催しており、指定管理者のノウハウとネットワークを生かした事業展開ができています。また、指定事業においては、前年度に引き続き積極的な新規事業の展開により、利用者増、施設認知度アップに貢献しています。
施設維持に対する 評価	定期的な館内清掃・点検を実施。また、早期に必要な修繕を行うことにより、老朽化を最小限におさえる等、適切な維持管理ができています。
収支状況に対する 評価	貸館事業による利用料金収入があるが、指定管理料が主たる財源となる。定期的な館内清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、備品については予算を僅かに上回ったが、修繕は予算の範囲内での執行ができています。
総合評価	施設の管理運営や施設維持管理については、提案書、仕様書、事業計画書に基づき適正に遂行、節電等経費削減にも取り組んでいる。また、新規事業の実施、継続的な PR を行い事業周知を図っている。市所蔵作品展を行うことにより、地元有缘のある芸術家の作品を広く市民に知ってもらい、市所蔵の芸術作品を有効活用することができた。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成28年度)

施設名	加古川ウェルネスパーク
指定管理者	STARKS（ストークス）グループ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	協働推進部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	580,529	603,492	近隣に新図書館が開館した影響で図書館利用者が大幅に減となった。図書館以外の施設では昨年度比で増となっている。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	397,725,075	399,020,661	
（うち指定管理料）	304,812,400	311,112,000	光熱水費の協定金額の変更による
（うち利用料金）	78,283,868	74,415,781	施設利用料増のため
支出金額（円）	389,457,254	396,850,305	光熱水費減のため

3 自己評価

自己評価コメント	事業では、ウェルネスパーク敷地内に捉われず、平荘湖周辺や神吉山などの自然を使った事業を行った。また、音楽ホールでは子供向けの無料イベントを開催した。ホール事業を盛り上げるためにロビーでもイベントを開催し、今までにない形の事業にも取り組んだ。野外活動では、ハーブサポーター活動やローズ倶楽部活動を継続して実施し、ハーブの丘を美しくする活動を行った。 ウェルネスパーク職員が多く研修に取り組み、来館者に安心かつ快適に利用していただけるように努めた。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	複合施設の特長を十分に活かした運営ができている。利用者の声を積極的に取り入れ、また、地元団体と協力した自主事業の展開をするなど、地域と協働した管理運営ができおり、高い利用者満足度を得ている。
----------------	--

利用状況に対する評価	健康増進施設についてはプログラムの充実、新規登録者の受け入れ態勢の見直しを行った結果、昨年度に引き続き利用者の大幅な増加となった。音楽ホール利用者は微増、近隣図書館のオープンの影響により図書館利用者が前年度比 13.3%減と大幅に減少したが、全体の利用者数としては前年度比 3.8%の減少に留まった。
自主（指定）事業に対する評価	指定事業については、以前より好評であったウェルネスプログラムの半年毎のスケジュール改正や指導者の指導力向上に努めた結果、多くの方が参加することとなり、健康増進施設の利用者数増に繋がった。自主事業においては、利用者数が目標値を上回っており、ウェルネスサマーフェスティバル等、複合施設であることを活かした取り組みも行っている。音楽ホールの新たな活用として、「クラシックホールをひとりじめベヒシュタインを弾こう」を実施し好評を得、地元の方に気軽に音楽ホールとピアノを活用してもらうという目的を達成できた。
施設維持に対する評価	定期的な点検や清掃、植栽管理、警備などが適切になされている。また、修繕費・備品購入費ともに予算の範囲内で必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。ESCO 事業においては、前年度に引き続き ESCO 事業者との協力により、適切な設備運転により光熱水費の削減をすることができた。
収支状況に対する評価	収入全体としては、貸館による利用料金収入が 2 割程度で、指定管理料が主な収入源となっている。支出については、定期的な館内清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、ほぼ計画どおりの執行ができています。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について良好に遂行している。多種多様な自主事業に取り組み新たな事業を行い、複合施設の特性を十分に発揮し、地域コミュニティの中心となっている。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成28年度)

施設名	加古川市立漕艇センター
指定管理者	STARKS（ストークス）グループ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	協働推進部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	22,397	21,577	夏場、水面利用禁止日数が昨年に比べ少なかったこと、団体利用が非常に多かったことなどが主な要因である。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	29,775,682	29,546,452	
（うち指定管理料）	25,613,000	25,613,000	
（うち利用料金）	3,476,870	3,220,430	夏場が好調であった
支出金額（円）	32,858,582	33,205,515	

3 自己評価

自己評価コメント	利用者数は、前年度比 103.8%と増加した。3年連続で利用者数増を達成することができた。スタッフの接客態度やご意見・ご要望に対する迅速な対応などが評価されたものと考えられる。 今年度は東日本大震災で被災した福島県の子供達を対象にした「東はりま ゆるわくキャンプ」の活動拠点として漕艇センターを利用いただいた。夏休みということで、夏休みボート体験教室に招き、地元の子供達と一緒にボート体験を楽しんでもらった。子供達は大変よろこんでいたようで、翌年も利用したいとの評価をいただいた。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	職員がボート修理の資格を取得することで、より安全なボートの管理や、不具合への素早い対応ができています。学校や企業へ積極的に働きかけることで、新たな利用者が増加している。
利用状況に対する評価	利用者数は団体利用が多かったため前年度を上回った。利用料金収入についても、艇庫代、貸艇代ともに増加し前年度を上回った。
自主（指定）事業に対する評価	指定事業無し。自主事業については目標値を上回ることができた。特にエルゴマシーンによるトレーニング・測定を行うクルーのための体力測定が大きく目標を上回った。また、コーチングセミナーを開催し、オフシーズン中の利用者増を図るなど新たな試みも行っている。

施設維持に対する評価	定期的な点検や清掃、植栽管理、警備などが適切になされている。また、修繕費・備品購入費ともに予算の範囲内で必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入全体では、貸館・貸艇による利用料金収入は1割強で、指定管理料が主な収入源となっている。支出については、定期的な館内清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、ほぼ計画どおりの執行ができています。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、概ね良好に遂行することができた。自主事業によるボート大会の実施や、各種ボート大会への積極的な協力などを通じ、ボート競技の普及に寄与している。また、ボート以外のスポーツ団体による合宿の誘致などを行い、施設の知名度の向上を図ることができている。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成28年度)

施設名	平荘湖アクア交流館
指定管理者	S T R K S (ストークス) グループ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	協働推進部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数 (人)	83,842	81,308	土曜日に水泳教室を開講したことで利用者が増となった。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額 (円)	116,202,191	111,477,935	指定事業料収入が増となった。
(うち指定管理料)	61,099,000	61,099,000	
(うち利用料金)	20,073,825	21,028,220	
支出金額 (円)	119,076,513	106,131,152	指定事業料収入増に伴い支出も増となった。

3 自己評価

自己評価コメント	温水、25m公認プールであることを生かした事業運営を実施した。小さいころから水に親しんでもらう取組みとして幼児水泳教室を実施、また、学生や一般の方が参加できる水泳教室を数多く実施し、たくさんの方に参加していただいた。文化事業については書道、小学生英語、生け花教室を開催した。来館者にとって心地よい施設づくりに心がけた。明るい応対や清掃の徹底、スタッフによるゴミ拾い等実施した。
----------	--

4 施設所管課評価

運営 (サービス) に対する評価	指定事業、自主事業共に幅広い事業展開を行い、様々な水泳教室の実施や、水泳大会の開催など利用者のニーズに合わせた事業運営ができています。
利用状況に対する評価	プール利用者数は、土曜日に水泳教室を開講するなどの工夫により、前年度実績を上回った。

自主（指定）事業 に対する評価	指定事業は水泳教室事業が好評で前年度実績を上回った。自主事業においても各種水泳教室への参加者が増加し前年度実績を上回った。指定事業・自主事業ともに幅広い層向けに事業展開しており、多様な利用者ニーズに応えることにより、参加者数の目標値を上回ることができた。
施設維持に対する 評価	定期的な点検や清掃、植栽管理、警備などが適切になされている。また、修繕費・備品購入費ともに必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する 評価	指定管理料が収入全体の 5 割強を占める。支出については、定期的な館内清掃・点検の実施、計画どおりの事業ができており、また、必要な修繕・備品購入を執行することができた。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。指定事業及び自主事業ともに目標値を上回る実績をあげることができた。特に自主事業において、障がい児水泳教室、こども基礎体育教室といった特色ある事業を行い、また新規事業として産後の骨盤調整ヨガやママの引き締めヨガを行い多くの参加者を得ていることは評価できる。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成28年度)

施設名	加古川海洋文化センター
指定管理者	TRSS（トレス）グループ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	協働推進部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
来館者数（人）	228,363	244,179	近隣に新図書館がオープンした影響、及び図書館システムの変更で、来館しなくても図書貸出期限の延長が可能になった事などにより来館者数は、前年度と比較すると6.5%減となった。
研修室利用件数（件）	473	442	親子教室、各種自主事業の実施で、目標値380件を上回った。
図書貸出冊数（冊）	210,591	229,979	近隣新図書館オープンの影響により、前年度比19,388冊減。目標値に対しては24,409冊の未達となった。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	86,570,187	85,276,879	自販機収入増による
（うち指定管理料）	77,794,000	77,794,000	
（うち利用料金）	664,450	645,250	
支出金額（円）	81,834,016	79,037,683	

3 自己評価

自己評価コメント	当館では、利用者が海と触れ合い、より親しんでもらえる事業の実施や施設維持に一丸となって取り組んだ。海に関わる文化、季節感ある催し物、日本の文化の体得など、幼児とその保護者をはじめとした多くの利用者に親しんでもらえたと考えている。 また、図書室独自の取り組みとして、毎月発行している図書館新聞「海風」の特集コーナーを新設し、関連本とともに展示した。時節に応じた特集を増やし手に取りやすくすることで、より親しんでもらえる運営を行うことができた。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	各種広報活動や魅力ある自主事業の実施により、夏季のじゃぶじゃぶ池を目的とする来館者だけでなく、1年を通してコミュニティの場として親子連れを中心に利用されている。
利用状況に対する評価	近隣に新図書館がオープンした影響で利用者は前年度に比べて6.5%減少し目標値も達成できなかったが、図書室以外の施設については微減に留まった。
自主（指定）事業に対する評価	指定事業において、海洋文化事業はシーカヤック入門教室、ボトルシップ製作教室が目標値を上回った。図書事業はお話し会、ブックスタートの2事業であったが、ともに目標値を大きく上回り好調であった。一方、自主事業については、和風揚げ体験が好評であり、目標値を大きく上回った。参加者数が一年を通じあり、親子連れの来館者が増加し、館の活性化につながる結果となった。
施設維持に対する評価	定期的な点検や清掃、植栽管理、警備などが適切になされている。また、修繕費・備品購入費ともに、必要分を適宜執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入全体としては、利用料金収入等の占める割合が低く、指定管理料が9割を占める主な収入源となっている。支出については、定期的な館内清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、予算の範囲内で、ほぼ計画どおりの執行ができています。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。特に子供連れの利用者も多く、海洋文化に関する知識の普及だけでなく、子育て支援の拠点としての役割も果たしている。施設内に図書室があるという特色を生かして、地域の人々の交流拠点のひとつとなっている。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成28年度)

施設名	加古川スポーツ交流館
指定管理者	TRSS（トレス）グループ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	協働推進部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用人員（人）	143,736	137,047	平日夜や土日祝の若年層を中心とした利用促進を進め、特に第1四半期の好調（前年比108%）により、年間でも前年利用者数を上回った。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	134,114,839	129,296,985	
（うち指定管理料）	72,024,709	71,459,871	修繕費用清算分
（うち利用料金）	52,006,654	50,523,662	利用者数前年6,736人増
支出金額（円）	130,629,964	131,222,704	

3 自己評価

自己評価コメント	指定期間が3年経過し、開設以来最高の年間利用者数を更新できた。中高年者に向けた継続取組と、ファミリー層・若年層に向けた利用促進の取組がうまく調和出来たことが要因と考える。今後も利用者ニーズの変化に合わせ、プログラムの見直しなど、提案型の運営を行っていく。一方、安全・衛生的な施設づくりが大前提となるため、施設の経年劣化による不便を日常の接遇・指導面でカバーしながら、安心して利用いただける施設提供を行っていく。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	利用者の要望に積極的に対応しており、利用実績は増加傾向にある。また、施設の維持管理については、経年劣化による故障等に対して、迅速で適切な対応をし、安全で快適な施設運営ができています。
利用状況に対する評価	施設利用者、利用料金収入については、ともに目標値、前年度実績を上回った。

自主（指定）事業 に対する評価	指定事業として、水泳教室等のプール事業及び、ダンス・ヨガ教室等のスタジオ事業を実施し目標値を大幅に上回った。また、自主事業においては前年度より実施しているグローブ空手、ストリートダンス等が好評であり前年度比で大幅な参加者増となった。利用者の少ない時間、時期に事業を行うことによって、施設運営を効率よく行うことにもつながっている。
施設維持に対する 評価	定期的な点検や清掃、植栽管理、警備などが適切になされている。また、修繕費については、当初予算を超過したが、指定管理業務の収支の範囲内で必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する 評価	収入全体としては、利用料金収入が 4 割弱、指定管理料が 5 割強を占める主な収入源となっている。支出については、定期的な館内清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、ほぼ計画どおりの執行ができています。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。平日夜の利用者を中心とした当日券・回数券購入による利用が増加し、前年度収入を大きく上回り、多くの利用者を安定して見込めるようになった。利用者増により今後一段と利用者サービスの向上が重要となってくるので、人材育成等のソフト面の更なる充実に期待したい。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成28年度)

施設名	浜の宮市民プール
指定管理者	TRSS（トレス）グループ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	協働推進部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	60,585	49,193	記録的な好天に恵まれ1日の休場もなく運営出来たこと、子供向け無料券利用による同伴保護者増などの要因により、前年より大幅な利用者数となった。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	35,160,602	30,238,171	
（うち指定管理料）	6,647,000	6,647,000	
（うち利用料金）	27,782,465	22,994,410	利用者の増加による
支出金額（円）	34,088,810	32,554,416	人件費の増による

3 自己評価

自己評価コメント	本年は記録的な好天に恵まれ、1日の休場もなくスムーズに運営することができた。近隣自治体のプール休場も重なって予想以上の利用増となったが、十分な監視・交通警備体制により大きな混乱もなかった。 例年同様、健康・安全の観点から、2時間毎にプールより退水いただき水底確認を徹底すると共に、監視員の定期巡回、定点監視を行った。人身・設備事故ともなく、この経験を次年度の運営に活かせると考えている。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	民間企業のノウハウをいかした専門的な知識と技術で、利用者の安全性を確保するとともに、サービスの向上、利用促進ができています。
利用状況に対する評価	天候に恵まれたこともあり、前年度比、目標値共に上回ることができた。屋外プールという性質上、利用者数は天候に左右され、毎年度利用者を安定確保することは難しいが、週末までの開場期間の延長や子供向け無料券の配布、コンビニでの入場券販売等利用者数を増やそうとする努力が見られる。

自主（指定）事業 に対する評価	指定事業なし。自主事業は従来 of 事業に加え、新たにアクアビクス、アウトドアヨガを行い、特にアクアビクスは参加型イベントとして好評であった。今後も利用者ニーズに応えた事業を展開すること期待する。
施設維持に対する 評価	定期的な点検や清掃、植栽管理、警備などが適切になされている。また、修繕費・備品購入費ともに、予算の範囲内で必要分を適宜執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する 評価	収入に占める指定管理料の比率は少なく、利用料金収入が 80%弱を占める施設である。今年度は好天であり、前年度の収入、目標値共に上回った。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。前年度に比べ利用者も増加し、事故もなく、多くの利用者に安全・安心なプール施設の提供ができた。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成28年度)

施設名	加古川市ウォーキングセンター
指定管理者	農事組合法人みとろ生産組合
指定期間	平成27年4月1日から平成30年3月31日まで
施設所管課	協働推進部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用人数（人）	3,582	4,698	利用人数は前年度比24%の減少であった。 自主事業を展開し、利用者増に努めたが、秋季の悪天候が影響した。 また、前年度は3小学校合計380人の小学生が「小学生の町探検」実施時の荒天時の昼食会場として当施設を利用した。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	4,147,011	4,217,318	
（うち指定管理料）	4,147,000	4,217,000	指定管理者の提案による
（うち利用料金）	0	0	—
支出金額（円）	4,147,011	4,217,318	

3 自己評価

自己評価コメント	ウォーキングセンターの利用者が前年度比約24%減であるのは、悪天候によるところが大きい。地域の人に写真展で自主事業に参加していただき、新規の利用者にも多数来ていただいた。また、研修室の利用範囲を広げ利用者も増えてつつあるが、一層の利用者増に努めたい。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	同エリアに拠点を置く指定管理者としての強みを生かし、同指定管理者が管理運営する近隣の見土呂フルーツパークと連携した事業を行うなど、地域密着型施設として事業展開している。リピーターや自主事業による新規利用者も増えており、施設を知ってもらおう努力をしている。
利用状況に対する評価	利用者数は前年度比約24%減であった。天候等の影響が大きかったようであるが、研修室の利用範囲を広げたり、新規事業を行うなど利用者を増やすための取り組みを行っている。

自主（指定）事業 に対する評価	ギフチョウの館内展示、地域生物展示を通年で実施しており、窓口で季節に合わせた自然観察等の情報提供を行っている。また、写真展を実施し、施設に来所するきっかけ作りをし、新たな利用者獲得を図っている。
施設維持に対する 評価	日常点検・清掃（トイレ、洗体室、鏡、床）を毎日2回実施する他、週1回窓ガラス定期清掃を実施。また、屋外の植木・芝生の手入れも行い、施設を適切に維持管理できている。
収支状況に対する 評価	貸館業務がないため指定管理料が主たる財源となる。定期的な館内清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、予算どおりの執行ができている。
総合評価	ウォーキングの拠点として広まりつつあり、ウォーキングの施設利用者から高い評価を得ている。また、研修室の定期的な利用もあり、地元を中心にコミュニティ施設として定着している。みとろフルーツパーク等の近隣施設と連携した野菜植え、イモ掘り体験学習を近隣の小学校、こども園の児童を対象に行い、施設を広く知ってもらい、より多くの人が利用する施設になるべく努力している。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成28年度)

施設名	加古川市立日岡山体育館
指定管理者	ミズノグループ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	協働推進部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	130,971	124,350	前年は1/25～3/8にアリーナ床工事を行ったため、第四四半期で大きく前年増となったため。
稼働率（%） ※アリーナのみ	84	86	7月および2月の稼働率が低かったことが影響している。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	83,684,402	80,702,734	
（うち指定管理料）	59,542,000	60,385,633	
（うち利用料金）	18,100,506	16,603,786	前年1/25～3/8床工事休館があったため
支出金額（円）	70,133,705	68,965,195	物販売上増による商品原価の増加

3 自己評価

自己評価コメント	施設全体の受付業務を一括集中することにより、総合的な管理を行うことができた。また安全にも配慮して運営できた。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	日岡山公園内の7施設を一括管理することで、効率的な運営を行うことができている。利用者のニーズに応じて安全で快適な施設運営ができている。
利用状況に対する評価	利用者数、利用料金ともに前年度を上回っており、目標値も達成している。
自主（指定）事業に対する評価	指定事業なし。自主事業については前年度参加者数を上回ることができ、目標値も達成できた。「ZUMBAダンスフィットネス」「3×3日岡山CUP」「婚カツ！バドミントン」「日岡山CUP卓球大会」など多くの新規事業に積極的に取り組んでいる。

施設維持に対する評価	定期的な点検や清掃、植栽管理、警備などが適切になされている。また、修繕料・備品購入費ともに必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入全体としては、貸館による利用料金収入、その他が 3 割弱で、指定管理料が主な収入源となっている。支出については、定期的な館内清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、ほぼ計画どおりの執行ができています。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。また、市民スポーツの拠点として定着しており、市民の健康づくりに寄与している。自主事業についても利用者のニーズを把握し、事業の見直しや新規事業を行うことで多くの参加者を集めている。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成28年度)

施設名	加古川市立武道館
指定管理者	ミズノグループ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	協働推進部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	39,514	43,181	各競技協会利用時の参加者数が減少していることが要因。
稼働率（％） ※道場のみ	59	61	第二武道場の稼働率が減少。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	11,647,192	11,642,268	
（うち指定管理料）	8,177,000	8,177,000	
（うち利用料金）	2,931,710	2,887,480	会議室の利用が微増
支出金額（円）	12,266,483	12,714,443	人員配置の効率化、 光熱水費の減少

3 自己評価

自己評価コメント	受付業務を体育館で一括集中管理することにより、点検や整備等に時間を使うことができ、細部まで見回ることができてきている。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス） に対する評価	日岡山公園内の7施設を一括管理することで、効率的な運営を行うことができている。利用者のニーズに応じて安全で快適な施設運営ができている。
利用状況に対する 評価	利用者数は、団体あたりの利用者数が減少しているため、目標値・前年度実績共に下回っているが、利用料金については前年度実績を上回っている。各競技の協会利用により安定した利用を確保している。
自主（指定）事業 に対する評価	指定事業なし。自主事業については、新規事業も積極的に行ったが、講師の変更等による利用者減により目標値を達成できなかった。今後、集客率と定着率を上げる方法を検討する必要がある。

施設維持に対する評価	定期的な点検や清掃、植栽管理、警備などが適切になされている。また、修繕費・備品購入費ともに予算を若干上回ったが、必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入全体としては、貸館による利用料金収入、その他が 3 割弱で、指定管理料が主な収入源となっている。支出については、定期的な館内清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、ほぼ計画どおりの執行ができています。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。冷暖房設備がないことから、夏期及び冬期の利用者が日岡山体育館に流れる傾向がある。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成28年度)

施 設 名	日岡山公園グラウンド
指定管理者	ミズノグループ
指 定期 間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	協働推進部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	60,418	61,974	サッカー協会の利用者数が減少した
稼働率（％）	90	91	

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	6,755,900	6,783,500	
（うち指定管理料）	2,777,000	2,777,000	
（うち利用料金）	3,978,900	4,006,500	減免対象団体の利用増による
支出金額（円）	6,674,847	6,765,171	人員配置の効率化

3 自己評価

自己評価コメント	各協会利用、学校利用、社会人利用とバランスよく利用していただけるよう各団体と話し合いを行い、大きなトラブルもなく運営できている。平日もほぼ予約が埋まっており、稼働率は90%近くを維持している。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	日岡山公園内の7施設を一括管理することで、効率的な運営を行うことができている。また、企業の特徴を生かしたサッカースクールは多くの参加者を集め、児童の競技能力向上に寄与している。
利用状況に対する評価	利用者数は前年度実績、目標値を僅かに下回っているが、稼働率は目標値を達成した。
自主（指定）事業に対する評価	指定事業無し。自主事業のサッカースクール及びグラウンドゴルフ大会ともに利用者に好評であり、目標値を大幅に上回ることができた。また、普段グラウンドを利用する機会のないサッカーやラグビー教室に属していない子供でも参加できる事業として、前年度に引き続き、かけっこ教室を開催し好評であった。

施設維持に対する評価	定期的な点検や清掃、植栽管理などが適切になされている。また、修繕費、備品購入費ともに当初予算を若干上回ったが、必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	利用料金収入が全体の約 6 割弱となる。支出については、定期的な清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、ほぼ計画どおりの執行ができています。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。また、競技団体と連携をとり、高い稼働率を維持することができている。自主事業については、幼児クラスのサッカースクールの参加者数のみが目標値を下回っており、今後の事業展開に期待したい。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成28年度)

施設名	日岡山公園第1テニスコート
指定管理者	ミズノグループ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	協働推進部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	16,339	18,034	1団体当たりの利用者数の減少
稼働率（％）	52	52	

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	7,019,509	6,973,263	
（うち指定管理料）	0	0	
（うち利用料金）	6,661,655	6,649,035	照明利用料が微増
支出金額（円）	5,378,770	5,367,564	

3 自己評価

自己評価コメント	冬場のテニススクールでコート1面を使用したけど、それによる一般利用の減少や意見等も無く、効率的に稼働率を上げることができた。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	日岡山公園内の7施設を一括で管理運営することで経費削減を行うことができている。
利用状況に対する評価	学校部活動等の1団体当たり利用者数が減少したことから、利用者数は前年度比減となり目標値も達成できなかったが、利用料金収入は前年度比を上回っており、目標値も達成している。
自主（指定）事業に対する評価	指定事業無し。自主事業のテニススクールについては、目標値を大幅に上回ることができた。また、冬場に第2テニスコートが凍結で利用できない対策として、第1テニスコートを一般利用の使用状況と調整しながら無理なく行い、自主事業を円滑に進めることができた。

施設維持に対する評価	定期的な点検や清掃、植栽管理、警備などが適切になされている。また、修繕費、備品購入費ともに当初予算を若干上回ったが、必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	指定管理料がなく、利用料金収入がほぼ収入全体となる。今年度は利用者が増加し収入額が増加した。支出については、定期的な清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、予算の範囲内でほぼ計画どおりの執行ができている。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。利用率は人工芝の全面張り替え後、上昇傾向にある。今後も利用者にとって満足度の高い施設にであり続けるよう期待したい。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成28年度)

施設名	日岡山公園第2テニスコート
指定管理者	ミズノグループ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	協働推進部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	8,639	8,332	市内学校の利用者が増加した
稼働率（％）	30	28	同上

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	2,134,320	2,065,401	
（うち指定管理料）	670,000	670,000	
（うち利用料金）	1,351,085	1,273,945	利用時間数の増加
支出金額（円）	3,185,481	3,360,546	人件費の減

3 自己評価

自己評価コメント	コート整備に費やす時間と労力が年々増加している。第1コートに比べ利用直前でも全面予約ができるので、学校部活には今後も利用を働きかける。次年度は、大会等のイベントを定例化し、活性化を目指す。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	日岡山公園内の7施設を一括管理することで、効率的な運営を行うことができている。利用料金を引き下げることによって、より多くの利用者が気軽に利用できる環境を整えるとともに、指定管理者の特性をいかしたテニススクールを実施し、多くのスクール生を集めることができている。
利用状況に対する評価	利用者数、稼働率共に前年度を上回っており、目標値に達することができた。学校部活での使用が増加したことが利用者増の主な原因。今後も引き続き利用者満足度の高い施設運営を期待したい。

自主（指定）事業 に対する評価	指定事業無し。自主事業のテニススクールについては、目標値を僅かに下回ることとなったが、中学部活で盛んなソフトテニスの受入枠を増やしていることは評価できる。
施設維持に対する 評価	定期的な点検や清掃、植栽管理、警備などが適切になされている。また、修繕費、備品購入費ともに当初予算を若干上回ったが、必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する 評価	収入のうち利用料金収入が全体の約 6 割強を占めるが、今年度は市内学校利用増で利用者増となり収入額が増加した。支出については、定期的な清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行うことができた。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。アンツーカコートは、競技団体のほか学校の部活動でも好んで利用されているので、今後もその特性をいかした取り組みに期待したい。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成28年度)

施設名	日岡山公園野球場
指定管理者	ミズノグループ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	協働推進部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	18,588	17,667	3月のソフトボール大会で、多くの方に利用いただいたため
稼働率（%）	48	49	

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	19,785,637	19,713,438	
（うち指定管理料）	16,365,000	16,365,000	
（うち利用料金）	2,944,060	2,875,860	グラウンド一般利用および照明利用時間が増加したため
支出金額（円）	21,612,842	21,900,837	光熱水費および人件費減による

3 自己評価

自己評価コメント	関連団体と連携し、利用者の要望を受け入れ柔軟に対応できた。 バックネットおよびフェンスの改修や黒土の搬入、水はけ対策などを実施し、コンディション改善につなげることができた。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	日岡山公園内の7施設を一括管理することで、効率的な運営を行うことができている。専門的な知識と技術をいかし、施設管理を行っている。
利用状況に対する評価	利用者数、利用料金とも昨年度実績を上回った。稼働率については横ばいである。前年度に比べ一般利用が増加している。

自主（指定）事業 に対する評価	指定事業無し。自主事業としては、投げる飛ぶ走る等運動に必要な能力を向上させるプログラム「ヘキサスロン」を実施。また、施設への興味を持ってもらうため、新規事業としてキックベースボールを行った。参加者数が目標値を下回っているので、目標値を達成するべく内容、PR方法等を検討し、参加者数増となるよう期待したい。
施設維持に対する 評価	定期的な点検や清掃、植栽管理などが適切になされている。また、修繕費、備品購入費ともに当初予算を若干上回ったが、必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する 評価	収入のうち利用料金収入は全体の約15%弱であり、指定管理料が主な収入源となっている。支出については、定期的な清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、ほぼ計画どおりの執行ができています。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。また、競技団体と連携をとるなど工夫をすることにより、稼働率を保つことができています。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成28年度)

施 設 名	日岡山市民プール
指定管理者	ミズノグループ
指 定 期 間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	協働推進部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	31,053	29,648	天気に恵まれ、利用者数が増加した

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	17,739,678	17,421,784	
（うち指定管理料）	3,480,000	3,480,000	
（うち利用料金）	13,016,230	12,756,190	利用者の増による
支出金額（円）	13,330,133	12,170,981	

3 自己評価

自己評価コメント	前年に比べ天候に恵まれたため、入場者数が伸びた。また、人身・設備事故ともなく運営することができた。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	日岡山公園内の7施設を一括管理することで、効率的な運営を行うことができている。老朽化した施設ではあるが、専門的な知識と技術を持つ指定管理者のノウハウをいかし、利用者の安全性を確保するとともに、サービスの向上、施設の利用促進を図っている。
利用状況に対する評価	天候に恵まれたこともあり、前年度比、目標値共に上回ることができた。屋外プールという性質上、利用者数は天候に左右され、毎年度利用者を安定確保することは難しいが、週末までの開場期間の延長や子供向け招待券の配布等利用者数を増やそうとする努力が見られる。
自主（指定）事業に対する評価	指定事業無し。前年度に引き続き自主事業の「縁日」を実施した。輪投げ・ヨーヨーつりなど子供に満足してもらえるような内容であった。

施設維持に対する評価	定期的な点検や清掃、植栽管理、警備などが適切になされている。また、修繕費、備品購入費共に当初予算を若干超過したが、予算の範囲内で必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入については利用料金収入が全体の約 73%を占める。利用料金は目標値には届かなかったものの前年度を上回った。また適切な維持管理と事業実施を行うことができた。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。前年度に比べ利用者も増加し、事故もなく、多くの利用者に安全・安心なプール施設の提供ができた。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成28年度)

施設名	加古川市立志方体育館
指定管理者	特定非営利活動法人加古川総合スポーツクラブ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	協働推進部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用人数（人）	27,373	26,770	

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	9,999,926	9,748,975	
（うち指定管理料）	5,964,000	5,993,000	
（うち利用料金）	3,704,323	3,455,875	利用者増による
支出金額（円）	8,323,588	8,295,987	

3 自己評価

自己評価コメント	利用者に気持ち良く利用していただけるよう努力した。（シャワー室の足ふきマットの珪藻土バスマットへの交換、足ふき・モップのこまめな洗濯等）
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	志方東公園テニスコートとの一括管理で経費削減に努めている。また、アンケート等に基づき、利用者のニーズに応えた運営を心がけており、指定管理者の特性を活かして、スポーツの普及に寄与している。
利用状況に対する評価	前年度の利用者数、稼働率の実績を上回り、目標値も達成できた。今後も利用者のニーズを把握して事業展開を行い、利用者数、稼働率ともに増加させる工夫をして、施設の有効活用に努められることを期待したい。
自主（指定）事業に対する評価	指定事業無し。自主事業であるシェイプアップ教室が好評であり、参加者数の目標値は下回っているが自主事業参加者の50%を占めており、利用者から高評価を得ている。一方で、大幅に目標人数に達していない事業もあり、事業の見直し等を行い、多くの参加者を確保できることを期待したい。

施設維持に対する評価	定期的な点検や清掃、植栽管理、警備などが適切になされている。また、修繕費、備品購入費については、当初予算の範囲内で必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入全体としては、貸館による利用料金収入が約 35%で、指定管理料が主な収入源となっている。支出については、定期的な館内清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、予算の範囲内で、ほぼ計画どおりの執行ができています。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができている。地元に密着した施設運営ができており、市北部のスポーツの場として親しまれている。積極的に自主事業に取り組む、中でもシェイプアップ教室が好評である。今後もより一層、利用者ニーズに沿った事業を展開して欲しい。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成28年度)

施設名	志方東公園テニスコート
指定管理者	特定非営利活動法人加古川総合スポーツクラブ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	協働推進部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用人数（人）	6,161	6,238	

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	6,248,914	6,243,716	
（うち指定管理料）	3,275,000	3,303,000	
（うち利用料金）	2,778,410	2,774,960	
支出金額（円）	6,014,157	5,961,210	

3 自己評価

自己評価コメント	テニス教室を開催し、平日に空いているコートを有効に利用している。
----------	----------------------------------

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	志方体育館との一括管理により経費削減ができています。また、親しみやすい施設として多くのリピーターに親しまれています。指定管理者の特性を活かして、スポーツの普及に寄与している。
利用状況に対する評価	前年度の利用実績とほぼ同水準であり、リピーターをしっかりと確保している。今後も利用者のニーズを把握して事業展開を行い、利用者数、稼働率ともに増加させる工夫をして、施設の有効活用に努められることを期待したい。
自主（指定）事業に対する評価	指定事業無し。自主事業であるテニス教室が好評であり、参加者数も目標値を達成している。利用者から高評価を得た事業であるので、今後も当事業を継続されたい。一方で、大幅に目標人数に達していない事業もあり、事業の見直し等を行い、多くの参加者を確保できることを期待したい。
施設維持に対する評価	定期的な点検や清掃、植栽管理、警備などが適切になされている。また、備品購入費は当初予算の範囲内で、修繕費も当初予算をやや上回っているが必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。

収支状況に対する評価	収入全体としては、貸施設による利用料金収入が約 44%、指定管理料が約 52%となっている。支出については、定期的な館内清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、予算の範囲内で、ほぼ計画どおりの執行ができています。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。自主事業のテニス教室は、初心者教室等の利用者に親しみやすい事業に取り組んだ結果、利用者数の目標値を上回った。今後も施設の認知度向上や利用者のニーズに沿った事業展開による利用者増に期待したい。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成28年度)

施 設 名	加古川市立総合体育館及び加古川運動公園陸上競技場
指定管理者	株式会社加古川運動公園市民スポーツサービス
指 定期 間	平成17年12月2日から平成37年3月31日まで
施設所管課	協働推進部ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
総合体育館 施設使用者数（人）	145,838	137,544	大会以外のジム利用者・部活や一般利用客が前年度比で増加していることが基礎的要因と思われる。
運動公園陸上競技場 施設使用者数（人）	130,221	133,168	昨年度に比べ個人利用者数が少なかったことが要因と思われる

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	378,993,832	381,120,528	
（うち割賦売上高）	171,797,480	171,797,480	
（うち管理・運営業務料）	207,196,352	209,323,048	
（うち利用料金）	0	0	
支出金額（円）	373,899,700	376,578,382	

3 自己評価

自己評価コメント	1. 運営に関する事項 ①バレーボールによる展開 みるスポーツ：本年度はバレーボール、Vプレミアリーグ開催が日程の都合により実施できなかった。 するスポーツ：元全日本選手によるバレーボール教室の誘致開催。 Vプレミアリーグチームによるバレーボール教室の継続。 ささえるスポーツ：小学生を対象とした Jr バレーボール大会開催による競技人口の底辺の拡大。 ②世代間の交流活動 カローリング教室を開講して普及活動を行い、その成果として、各地(岡山・徳島・大阪等)からの参加者を交えて、第11回大会を開催した。
----------	--

	今後とも総合的に総合体育館・陸上競技場の活性化を図りたいと考えている。 2維持管理に関する事項 清掃に関しては、気持ちよく使用できる清潔な環境を維持するために、充分気を配り、「いつもきれいな施設である」と使用者に評価していただいている。今後もこの評価を維持できるようにする。設備については、体育館・競技場とも、水回りを中心に経年劣化による不具合が発生しつつあるので、予防保全の観点から、早期発見・早期修理を心がけていく。
--	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	PFI 事業の基本方針である「するスポーツ、みるスポーツ、ささえるスポーツ」の拠点となっており、様々なスポーツで重要な施設として広報することができている。また、アンケートの実施や有識者等による活性化委員会の開催により、サービスの向上に努めている。
利用状況に対する評価	積極的な事業展開により、総合体育館の利用者数は昨年度を上回る実績となった。陸上競技場では利用者数は減少したが、前年度臨時で開催された大会がなくなったためであり、両施設とも部活や一般利用客が増加している。
自主（指定）事業に対する評価	PFI 事業については、市主催スポーツ教室、自主活性化事業等の各教室を実施し、市民スポーツへの関心を高め施設の活性化に寄与した。
施設維持に対する評価	定期的な点検や清掃、植栽管理、警備などが適切になされている。
収支状況に対する評価	収入については市からの設計・建築費が 45%、管理・運営業務料が 55%の比率となっている。支出は、定期的な館内清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行った。
総合評価	PFI 事業要求水準書（一次、二次）に基づく提案書、事業計画書に基づいて、管理運営を確実に実施している。総合体育館においては、活性化事業として様々な教室を実施し、市民の健康づくりに大きく寄与している。また、無料開放している市民クラブルームをはじめ、近隣住民を中心にコミュニティ施設として定着している。陸上競技場においては陸上競技教室を実施し、児童の競技能力向上に寄与している。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成28年度)

施設名	加古川市立勤労会館
指定管理者	一般社団法人加古川労働者福祉協議会
指定期間	平成27年4月1日から平成30年3月31日
施設所管課	産業経済部産業振興課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	66,169	75,066	市民会館のリニューアルオープン、301 会議室の改修工事による利用者の減少
利用件数（件）	3,017	3,151	同上

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	18,428,957	18,493,166	
（うち指定管理料）	15,322,913	15,229,591	修繕料の増額
（うち利用料金）	3,106,000	3,262,730	利用者減による減少
支出金額（円）	18,233,543	18,524,925	

3 自己評価

自己評価コメント	設備点検、簡易な修繕等の維持管理を遅滞なく行った。また、経費節減に取り組み、指定管理料のうち光熱水費の一部を市に返還することができた。 貸館業務についても大きなトラブルもなく、適切に管理運営はなされたものと考えている。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	利用者の協力のもと、事故もなく運営している。 施設の設備上の制限があるが、可能な限り利用者の利便性やサービス向上に努めている。
利用状況に対する評価	市民会館の改修終了により、前年度と比べ利用者数が減少しているが、一定の基準は維持している。 ホームページの活用や、利用料金の返還の基準を定める等利用しやすい状況になるよう努めている。

自主（指定）事業 に対する評価	勤労者の福利厚生につながる事業を行い、勤労者の教養文化の向上、福祉の増進、会館利用者の増加に寄与している。
施設維持に対する 評価	施設は老朽化が進み、修繕数も増えているが、貸館業務に支障が出ないように施設維持に必要な点検や修繕について遅滞なく対応できている。 台風等災害時にも遅滞なく対応している。
収支状況に対する 評価	消耗品や印刷製本費等、最少数の購入やまとめ買いなど計画的に経費削減を行っている。 こまめな消灯等で光熱水費を削減し、市に指定管理料の一部を返還している。 簡易な修繕は指定管理者が行うなど修繕費の削減に努めている。
総合評価	事業計画どおり概ね良好に実施されている。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成28年度)

施 設 名	加古川市立地域産業振興センター
指定管理者	地域産業振興センター運営協議会
指 定 期 間	平成27年4月1日から平成30年3月31日まで
施設所管課	産業経済部産業振興課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	9,051	9,468	大ホール・多目的研修室がエアコン改修工事で利用できない期間があったため。(10～11月)

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	5,646,076	5,821,000	
（うち指定管理料）	5,646,063	5,821,000	
（うち利用料金）	0	0	
支出金額（円）	5,646,076	5,821,341	

3 自己評価

自己評価コメント	利用者に対してアンケート調査等を実施し、快適な施設の利用ができるよう対処しているとともに、ボランティアによる修繕等で経費削減に努めるなど、地域に開かれた施設として適切に管理運営している。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	施設の管理運営業務においては、事業計画通り概ね良好に実施されている。利用者アンケート等により利用者等の意見を把握し、管理運営に反映されていることから判断できる。
利用状況に対する評価	利用者数は横ばい状態であるが、地元町内会等との連携のもと、きめ細やかな施設の管理運営が図られており、地域の拠点となるよう利用促進にも努めている。
自主（指定）事業に対する評価	みどり喫茶事業により、地域住民のコミュニティの形成及び当該センターの利用促進が図られている。 靴下の購入希望者があれば、直接製造・販売業者へ取り次ぐなど、地場産業の販売促進に努めている。

施設維持に対する評価	清掃業務については業者委託により適切に実施している。修繕関係への意見・要望は多く、簡易な修繕は緊急性のあるものから順次計画的に対応している。 また、こまめな消灯や電源の ON/OFF 等を徹底し省エネへの取り組みも積極的に努めている。
収支状況に対する評価	不要な支出は認められず、適正に経理処理されている。 また、可能な範囲でボランティアの協力を得て修繕するほか、事務用品についてはコピー用紙の裏面を利用するなど経費削減を徹底している。
総合評価	概ね適正に運営・管理されている。 地域産業の振興と地域住民の生活文化向上である施設の目的に沿った管理運営が行われている。 また、経費削減についても、細部に渡り努力が認められる。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成28年度)

施設名	加古川市立しろやま農業研修センター
指定管理者	しろやま農業研修センター管理運営協議会
指定期間	平成27年4月1日から平成30年3月31日まで
施設所管課	産業経済部農林水産課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用件数（件）	1,224	1,323	施設周辺人口減や、高齢化による利用率の低下。
利用者数（人）	18,613	21,040	

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	6,179,922	6,381,994	
（うち指定管理料）	6,162,059	6,182,743	
（うち利用料金）	0	0	
支出金額（円）	6,073,579	6,381,994	

3 自己評価

自己評価コメント	運営管理については適切に実施できた。
----------	--------------------

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	利用者満足度調査に関するアンケート実施においては、良好な結果を得ている。特にコメントでは、「掃除が行き届いている」、「職員は親切で対応が良い」といった意見が多く、良好に運営されている。
利用状況に対する評価	志方町内に当該施設のほかに類似施設が4施設（志方公民館、産業振興センター、志方会館、二の丸会館）設置されている状況において、利用件数、利用者数ともに減少している。自主事業の実施等により利用者数の増加を期待したい。
自主（指定）事業に対する評価	志方東地区の最大の農業イベント、コスモス祭の中央案内所等としても活用し、施設のPR効果も大きく評価できる。

施設維持に対する評価	日常の清掃は管理人が行い、ワックス掛け（年１回）のみ業者委託。利用者アンケート結果においても「清掃が行き届いている」とのコメントが複数あるほど、管理者自ら施設を大切に扱っている。 節電、節水等の取り組みについては張り紙等による啓発により大部分の利用者に浸透しているように思われる。
収支状況に対する評価	光熱水費についても余剰金が発生、市に返金する結果となり評価する。 経費削減の取り組みについては、特に電気・上水道関係では以前からの取り組み（利用にあたってのお願い等）が利用者に浸透し、協力が得られている。
総合評価	概ね適切に運営・管理されている。地域密着型の施設であるので、今後も施設の認知度向上や利用者のニーズに沿った事業展開を期待したい。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成28年度)

施設名	加古川市立農村環境改善センター
指定管理者	農村環境改善センター運営協議会
指定期間	平成27年4月1日から平成30年3月31日まで
施設所管課	産業経済部農林水産課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用件数（件）	1,648	1,612	新規利用団体が微増。
利用者数（人）	26,384	28,945	各利用団体の人員が減少。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	5,724,298	5,751,959	
（うち指定管理料）	5,536,659	5,591,131	
（うち利用料金）	0	0	
支出金額（円）	5,669,845	5,744,906	

3 自己評価

自己評価コメント	設備点検、簡易な修繕等の維持管理を遅滞なく行った。また、経費節減に取り組み、指定管理料のうち光熱水費の一部を市に返還することができた。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	地元町内会が主体となった指定管理者であり、地域に密着した運営を実施しており、利用者から特に苦情もなく適正に運営管理を行っている。
利用状況に対する評価	利用件数は前年より若干増加しているが、利用人数は減少している。各利用団体の人員の減少が原因とみられるため、今後の利用者増のためのPRを期待する。
自主（指定）事業に対する評価	3回目の開催となった今年度の講演会は心臓疾患の予防対策をテーマとし、長期的な健康づくりに役立つ機会を提供できており評価できる。次年度も継続実施を期待する。
施設維持に対する評価	修繕については、部品を購入して直に修繕するなど対応も早く、また経費の削減にも貢献している。

収支状況に対する 評価	経理状況については、適正に処理されている。 会計全体の収支決算は黒字であり、光熱水費についても不用額が市へ返金され、評価している。
総合評価	概ね適切に運営・管理されている。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成28年度)

施設名	加古川市見土呂フルーツパーク
指定管理者	農事組合法人みとろ生産組合
指定期間	平成27年4月1日から平成30年3月31日まで
施設所管課	産業経済部農林水産課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	117,858	128,215	比較的悪天候の日が多かったことや、連休日数が少なかったことから、入館者数、バーベキューブース利用者が減少している。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	42,446,200	42,083,141	
（うち指定管理料）	42,267,328	41,797,576	
（うち利用料金）	0	0	
支出金額（円）	41,772,538	41,958,221	

3 自己評価

自己評価コメント	果樹園の入園者数が減少するなか、芋掘りは過去最高の利用者数となり、たくさんの親子に楽しんでいただけたことに満足している。来年度もより自然と農業に触れる機会の多い公園として入園者増に繋げる努力をしたい。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	利用者アンケートの実施や利用者の声を収集するため意見箱など、サービス向上に繋げようとする姿勢を維持している。また、無断駐車をしないよう注意喚起するなど、本来の利用者が気持ちよく利用してもらうための配慮が随所に表れている。
利用状況に対する評価	利用者数は前年より減少しているが、SNS等による情報を常に更新する等、利用者数の増加に努めている。 また、アンケートによるとイベント来場者のうち97%が施設について満足しており、魅力あるイベント開催ができていると評価できる。

自主（指定）事業 に対する評価	バーベキューブース利用者には、手ぶらでも利用出来るよう食材の申込みに対応している。また、地場産業・地域ブランドである加古川和牛も選択できる等、PR と地産地消の推進に貢献している。喫茶では果樹園やフルーツパークのフルーツを使用したメニューを加え、PR に尽力している。
施設維持に対する 評価	修繕に対しては早急に行動し、修繕が出来るまでの間の利用者等への安全対策も適宜講じている。 広大な敷地ではあるが手入れがよく行き届いている。利用者にはゴミの持ち帰りを周知し、ゴミ箱は一切置かないなど徹底している。
収支状況に対する 評価	温室の電気使用量の抑制に取り組み、光熱水費の不用額が市に返納された。また、消耗品費などの出費を抑制し、決算値で黒字となり評価している。
総合評価	概ね適正に管理運営を実施されている。利用状況については、入館者増に繋がるよう、施設管理も含め事業展開等により一層の努力を期待する。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成28年度)

施設名	加古川市立知的障害者総合支援センター
指定管理者	社会福祉法人加古川はぐるま福祉会
指定期間	平成24年4月1日から平成29年3月31日まで
施設所管課	福祉部障がい者支援課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
生活支援センター(人) (施設入所支援)	467	476	在籍中であるが長期入院中あり
生活支援センター(人) (生活介護)	14,467	14,818	同上
生活支援センター(人) (短期入所)	667	762	
生活支援センター(人) (日中一時)	251	259	
就労支援センター(人) (通所利用)	40	27	
見学受入(人) (啓発活動)	436	612	

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額(円)	249,280,074	250,298,855	
(うち指定管理料)	35,313,000	35,313,000	
(うち利用料金)	207,477,834	206,783,214	生活介護の利用増
支出金額(円)	247,714,703	250,339,047	水道光熱費や消耗品費、修繕費の減少

3 自己評価

自己評価コメント	「公立施設」が有する公共性を保ちつつ、「民間運営」ならではの低コスト、質の高いサービス、柔軟かつ的確な対応を実践できたと考えている。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス） に対する評価	利用者保護者を定期的に開催してニーズの把握に努め、送迎バスを運行するなどして、利用者の希望する自立支援と安全・安心な福祉サービスの提供を行うことができている。
利用状況に対する 評価	適切な人材育成及びサービス提供体制の整備等により、安定した利用状況を維持できている。
自主（指定）事業 に対する評価	研修を奨励して人材育成に努めており、また、生活介護及び就労支援の充実以外にも相談窓口を充実（休日の総合相談窓口を開設）させるなどして、総合的な福祉サービスの提供を行うことができている。
施設維持に対する 評価	施設の保守管理（点検、修繕及び清掃等）が適切に実施できている。（指定管理者負担となる修繕についても適切に実施できている。）
収支状況に対する 評価	利用者は減少となったが、調理直営化等により経費を削減することができた。
総合評価	事業計画書に基づき、障がい者の生活や就労に関する総合的な支援を適切に行うことができている。 また、積極的な人材育成による良質な福祉サービスの提供に努めており、法人としての長年の実績と経験及び全国の支援事業者や関係機関・団体との幅広いネットワークと相まって、利用者への細やかな支援が提供できている。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成28年度)

施設名	加古川市立つつじ園
指定管理者	社会福祉法人博由社
指定期間	平成25年4月1日から平成30年3月31日まで
施設所管課	福祉部障がい者支援課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
年間利用者数（人）	10,572	10,452	祝日営業日を6日間実施したため。
1日平均（人）	43.1	43.73	祝日営業日の利用者数が少ないため、全体の1日平均数も下がった。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	197,995,139	194,803,433	処遇改善加算の改正による増額
（うち指定管理料）	61,714,286	61,714,286	
（うち利用料金）	134,129,703	130,560,945	処遇改善加算の改正による増額
支出金額（円）	208,915,355	181,453,398	職員の増員、処遇改善手当の増額

3 自己評価

自己評価コメント	大幅な日中活動の見直しを行った。特に午前中は作業の時間とし、作業グループを再編成した。作業を通じて行動障害へのアプローチを行い、行動障害の軽減を図ることができた。それによって保護者からの評価を得ることができた。 行動障害への支援を深めることができたが、身体障がい重複している利用者への支援は不十分であったため、来年度の課題としたい。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	定例的な家族会との懇談会や、アンケート方式による意見聴取により、利用者の保護者の満足度を把握する取り組みを行い、サービスの向上を図っている。
----------------	---

利用状況に対する評価	平成 26 年度にドアツードア送迎を開始し、利用者増となった。平成 28 年度についても同水準を維持できている。
自主（指定）事業に対する評価	平成 28 年 11 月より相談支援事業を開始している。 今後は地域の事業所との連携を含めた、効果的な相談支援の実施に向けた取り組みが必要である。
施設維持に対する評価	施設の保守管理（点検、維持、清掃等）を適切に実施している。また、指定管理者負担となる修繕についても適切に実施している。
収支状況に対する評価	単年度収支は赤字となったが、職員の処遇改善や施設の修繕を積極的に実施した。また、処遇改善によるサービス給付費の加算が発生したため、収入額は増加した。
総合評価	他の事業所で対応が困難な利用者を受け入れる公立施設としての役割を認識し、市内の重度な障がい者に対して生活介護事業を適切に実施している。引き続き、確実かつ安定した運営に努める必要がある。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成28年度)

施設名	加古川夜間急病センター
指定管理者	公益財団法人東播臨海救急医療協会
指定期間	平成27年4月1日から平成30年3月31日まで
施設所管課	福祉部健康課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
受診者数（人）	10,755	11,211	小児科受診者が減少
後送者数（人）	453	451	前年度とほぼ変わらず

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	107,874,796	106,711,703	インフルエンザ関連医薬材料費が増。
（うち指定管理料）	107,874,796	106,711,703	
（うち利用料金）	0	0	
支出金額（円）	107,874,796	106,711,703	

3 自己評価

自己評価コメント	加古川夜間急病センターの診療業務において、利用者サービスの質の低下を招くことなく管理運営業務を適正に実施。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	施設の管理運営については、基本協定書、仕様書及び事業計画書に基づき、適正に実施している。また、医師不足が問題となる中、安定した診療体制を維持するために医師の確保に努めている。
利用状況に対する評価	年中無休で診療を実施できている。
自主（指定）事業に対する評価	実施する自主事業なし。
施設維持に対する評価	定期点検や軽微な修繕を行い、施設の維持に努めている。

収支状況に対する 評価	不必要な物品の購入を控え、適切な在庫管理を行っている。また、物品購入の際は見積り合せを実施し、経費縮減に努めている。
総合評価	夜間帯において救急医療を必要とする者に対し、年中無休で初期診療を実施する安定した体制が確保できている。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成28年度)

施設名	加古川市立別府公民館
指定管理者	別府公民館管理運営委員会
指定期間	平成28年4月1日から平成31年3月31日まで
施設所管課	教育指導部社会教育・スポーツ振興課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	102,971	107,263	前年度より4,292人の減 ※使用区分による内訳 青少年 △447人、成人 △33,755人 高齢者 24,734人、その他 5,176人
利用件数（件）	5,488	5,414	前年度より74件の増 ※使用区分による内訳 青少年 88件、成人△1,667件 高齢者 1,558件、その他 95件
稼働率（％） ※屋外除く	44.98	44.31	前年度より0.7%増 27年度 28年度 件数合計 4,978 5,047 可能数合計 11,232 11,220

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	22,550,046	22,550,854	
（うち指定管理料）	22,550,000	22,550,000	
（うち利用料金）	0	0	
支出金額（円）	22,454,398	22,550,854	

3 自己評価

自己評価コメント	別府地域におけるコミュニティづくりの拠点施設としての役割を十分に果たしていると考えている。 今後も利用者の声を参考にしながら、地域の意向や要望を今まで以上に取り入れた運営を行い、地域に開放された公民館運営に取り組んでいきたい。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	施設の管理運営業務においては、アンケート等により利用者のニーズに応じた管理運営が概ね良好に行われていることは高く評価できる。
----------------	--

利用状況に対する評価	前年度に比べ利用者数がかなり減少している。今後はさらに地域住民のニーズを反映した事業展開や、そのPR方法など、創意工夫により地域交流拠点としての公民館運営を推進してほしい。
自主（指定）事業に対する評価	指定事業、自主事業ともに新規事業の実施や事業内容の充実により、集客数の向上を図る取組について評価している。
施設維持に対する評価	仕様書に基づき適正に行われているため良好と評価する。 節電及び節水については、今後も継続してもらいたい。
収支状況に対する評価	予算の範囲内で適正に執行している。
総合評価	地域住民の多様なニーズに応えるとともに、さらに幅広い利用促進を図ることで、良好かつ効率的な管理運営業務を実施していることは高く評価できる。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：平成28年度)

施設名	尾上公民館
指定管理者	尾上公民館運営管理委員会
指定期間	平成27年4月1日から平成30年3月31日まで
施設所管課	教育指導部社会教育・スポーツ振興課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等									
利用者数（人）	101,288	101,165	前年度より123人増でほぼ同数 ※使用区分による増減の内訳 青少年 △585、成人 △595人 高齢者 2,560人、その他 △1,257人									
利用件数（件）	5,087	5,088	前年度より1件の減でほぼ同数 ※使用区分による増減の内訳 青少年 51件、成人 22件 高齢者 △96件、その他 22件									
稼働率（％） ※屋外除く	30.23	31.52	前年度より1.28％の減 <table><tr><td></td><td>27年度</td><td>28年度</td></tr><tr><td>件数合計</td><td>5,088</td><td>5,087</td></tr><tr><td>可能数合計</td><td>16,146</td><td>16,830</td></tr></table>		27年度	28年度	件数合計	5,088	5,087	可能数合計	16,146	16,830
	27年度	28年度										
件数合計	5,088	5,087										
可能数合計	16,146	16,830										

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	23,941,508	20,682,932	
（うち指定管理料）	20,682,000	20,682,000	
（うち利用料金）	0	0	
支出金額（円）	18,933,212	17,876,706	

3 自己評価

自己評価コメント	指定管理の2年目としては、計画された事業は概ね実施できた。また、内容的にも受講者、参加者にとってある程度満足が得られるものとなった。 ただ、高齢者学習事業や地域人材育成事業においては、公民館としての目的と受講者、参加者の思いを一致させるなかで、満足度を高めるのがなかなか難しい部分がある。地域活動の中核的役割を果たす公民館の役割が、受講者、参加者の満足を得られるような取り組みを今後とも検討、実施していきたい。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	施設の管理運営業務においては、アンケート等により利用者のニーズに応じた管理運営が概ね良好に行われていることは高く評価できる。
利用状況に対する評価	前年度実績と同等であることから、今年度についても良好な運営であったことがうかがえる。今後は、さらに利用状況がよくなるよう、地域の協力を得ながら効率的な運営を期待したい。
自主（指定）事業に対する評価	指定事業、自主事業ともに新規事業の実施や事業内容の充実により集客数の向上を図る取組について評価している。 高齢者学習事業の満足度低下については、改善策を検討し実施されたい。
施設維持に対する評価	仕様書に基づき適正に行われているため良好と評価する。 節電及び節水については、今後も継続してもらいたい。
収支状況に対する評価	消費税の支払い免除による執行残はあるが、その他の項目については、計画的に執行されており、概ね適正な運営であると評価できる。
総合評価	今後についても、地域住民の多様なニーズに応えさらに幅広い利用促進を図ることで、良好かつ効率的な管理運営業務の実施を期待している。